

幼保部会 開催報告

◆ 開催状況

「新潟市立保育園配置計画」の策定にあたり、保護者を含めた臨時委員3名を加え検討を行った。

第1回 平成30年5月14日

【報告】

- ・ 市立保育園の現状と課題、今後のスケジュール

第2回 平成30年5月31日

【議事】

- ・ 市立保育園の役割、市立保育園の対応方針

【主な意見】

- ・ 保育園を選ぶ基準は「近い」「新しい」で、市立・私立はあまり気にしない。
- ・ 保育サービスの印象は、市立は同様、私立は個別。
- ・ 廃止の際は、「転園先の保証」「納得できる説明が必須。

第3回 平成30年6月20日

【議事】

- ・ 計画骨子案の提示・検討、基幹保育園の役割

【主な意見】

- ・ 市立の役割で「基幹保育園」をどうするかは重要。
- ・ 苦情対応や民間を含む保育士のケアをする機能があるといい。

第4回 平成30年7月27日

【議事】

- ・ 計画（素案）の説明、検討

【主な意見】

- ・ 施設の廃止にあたっては、在園児への対応が最優先であるため、もっと強調するべき。
- ・ パブリックコメント実施にあたっては、できるだけ多くの保護者に知ってもらうため、各園や支援センター等にも配置した方がよい。

(仮称) 新潟市立保育園配置計画の策定について

1. 策定スケジュール

実施月日	会議名等	主な内容
5月14日～ 7月27日	新潟市子ども・子育て会議 幼保部会 (計4回)	<ul style="list-style-type: none"> 市立保育園の現状と課題 基幹保育園について 計画(素案)の説明・検討
6月26日	市民厚生常任委員協議会報告	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定の経緯、検討方法、内容等の説明
8月8日～ 9月7日	パブリックコメントの実施、意見反映 (提出者:35名、提出件数:99件)	<ul style="list-style-type: none"> 計画(素案)の市民意見提出の実施
9月18日	市民厚生常任委員協議会報告	<ul style="list-style-type: none"> 地域への報告状況、パブリックコメント実施状況報告
10月	計画策定(予定)	

2. 地域(各区自治協議会)への報告状況

区	日時	出席者数	主な意見
北	8月16日	28名	<ul style="list-style-type: none"> 具体性がないため、「計画」ではなく「方針」ではないか。 市立園の統廃合や民営化によって、保育の量・質の確保や労働環境の改善が本当になされるか。 特に低年齢児について、抜本的に変えなければならない状況。保育環境が良くなることを前面に打ち出すべき。 民営化により、行政の目が行き届かなくなるか。 民営化の具体的な手法は。民間は手を挙げるのか。 市立園の数を減らさずに保育を充実させてほしい。 正職率の低さは長年の課題。スクラップは大変なことだが、取り組まなければならない。 各施設の対応等について、情報発信に努めること。 民営化にあたっては他都市の例を踏まえて進めること。
東	8月23日	24名	
中央	7月27日	36名	
江南	8月23日	28名	
秋葉	8月29日	28名	
南	8月29日	23名	
西	8月28日	29名	
西蒲	8月27日	25名	

3. パブリックコメントの実施状況

<p>主な意見 (35名、99件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童ゼロは素晴らしい。新潟市の保育環境は恵まれている。(1件) 民営化の推進により、保育サービスの低下または格差が生じないか。また、公的責任が希薄にならないか。(10件) 園数の減少により、今以上に入園が困難になるのでは。(3件) 子どもが健やかに成長できるよう、老朽化等の対応は急務。(4件) 夜間、休日、病児保育の充実。(2件) 保育士の処遇改善。(8件) 子育て施策に多くの予算を確保することは行政の当然の責務。(9件) 新潟市の先進的な保育を確立してきた、1歳児に対する職員配置や障がい児の受入について、今後の堅持を明記してほしい。(6件) 基幹保育園構想に賛同。区に複数園整備してほしい。(4件) 財源の説明に地方交付税に関する記述がない(5件)
---------------------------	---